

人権啓発・平和DVD一覧

2023年4月作成

阪南市では、市民の皆さんに平和・人権問題を正しく理解していただくために、啓発DVDの貸し出しを行っています。
どうぞご利用ください♪



【貸し出し要領】

1. 利用について
 - ・貸し出しを希望される方は、貸し出し状況について、事前に電話で人権推進課へ確認してください。
 - ・「借用申込書」に必要事項を記入して、人権推進課へ申請してください。
2. 貸し出し期間等について
 - ・貸し出し期間は2週間以内です。貸し出し本数は5作品までです。
3. 使用上の注意
 - ・DVDは大切に取り扱いってください。
 - ・DVDを破損・紛失した場合は弁償していただくことがありますのでご了承ください。
 - ・「借用申込書」提出の際に身分証明書等の提示をお願いします。

阪南市役所 総務部 人権推進課

電話 072-489-4505

— 目 次 —

A	女性の人権問題	……	2
B	高齢者の人権問題	……	3
C	障がい者の人権問題	……	4～5
D	同和問題	……	6
E	職場・企業における人権問題	……	7
F	平和	……	8～10
G	人権全般	……	11～13
H	さまざまな人権問題	……	14～16

女性の人権問題

番号	題名	収録時間	内容	制作年	備考
A-1	虐待防止シリーズ 配偶者虐待 DVを許さない・しないために	25分	実例を基にした2話のドラマに沿って、自らもDV被害者であった解説者が、問題点と対処方法を紹介しています。第1話は、夫からのDV行為が始まって、夫の「やさしかったときを信じて」、専門機関に相談する決心のつかない妻の事例、第2話は、夫の暴力に、「子どものために」耐え忍び、それが「子どもの虐待」につながった妻の事例となっています。	2008	字幕入り
A-2	パパ、ママをぶたないで！（アニメ）	20分	父親から母親への暴力に見かねた子どもたちが国王に訴えた、というノルウェーの実話に基づいて作られた作品。少年ボイは、パパがママに暴力を振るうのは、「自分のせいだ」と思っています。そして、このことは誰にもしゃべってはいけないと思い、じっと辛抱していました。が、小鳥や仲良しの犬に励まされて、王様に手紙を書きます。	2009	解説書 字幕有り
A-3	女性の人権シリーズ 夫の虐待を許さない！ 夫婦のモラル・ハラスメント	19分	見下した態度と言動で、妻の人権を傷つけながら、全く自覚のない夫。夫に従うのが自分の役割だと思い込み、実際の暴力のないため、虐待だと気づけない妻。この夫婦の行動や思い込みについて、ドラマを通して考えます。	2010	
A-4	女性の人権シリーズ 暴力は愛じゃない！ 男女交際のハラスメント	21分	親密な関係になって始まった行動の制限や監視。最初はそれも愛だと信じていた。しかし、それはやがて激しい暴力へと変わっていく。いわゆる「デートDV」の実態や特徴、問題点について、ドラマを通して考えます。	2010	
A-5	人と人とのよりよい関係をつくるために	42分	このDVDは、若年層を対象とした交際相手からの暴力の予防啓発教材「人と人とのよりよい関係をつくるために」を使った授業の例を、指導者向けにわかりやすく解説した教材です。若年層にそのまま視聴させることもできる部分も含めた構成になっています。	2011	字幕有り
A-6	私らしくマイノリティを生きる	20分	国連・女性差別撤廃条約は、できてから30年以上たちますが、生きている国際条約として日々発展しています。この作品では、複合差別を乗り越えようとする当事者たちが登場します。	2013	字幕有り
A-7	あした咲く 「女性が輝く社会」の実現に向けて	36分	平成27年8月の「女性活躍推進法」成立をはじめ、これまで様々な取り組みが進められてきました。しかし現状は、職場や地域における女性の能力発揮の為の環境整備や意識改革は必ずしも十分ではありません。この作品は、生き方の異なる姉妹が、それぞれの立場ゆえの悩みや葛藤を抱え姉妹での対立や父との会話、そして地域の人々とのふれあいを通して価値観に気づき、自分で自分の生き方を選択し、多様性尊重社会の実現をめざすきっかけとなる人権啓発ドラマです。	2017	副音声、 字幕有り

高齢者の人権問題

番号	題名	収録時間	内容	制作年	備考
B-1	社会福祉施設等における人権 私たちの声が聴こえますか	30分	近年、高齢化が急速に進行する中で、社会福祉施設等の入所者に対する身体的・心理的虐待が表面化し、社会問題となっています。本作品は、女優の渡辺美佐子による「ひとり芝居」を中心に、施設職員の人権意識を高める必要性・手法等に関する専門家へのインタビューや、「どんな行為が入所者の人権侵害に当たるのか」が自然に理解されるような構成になっています。	2007	副音声、字幕入り
B-2	虐待防止シリーズ 高齢者虐待 尊厳を奪わないために	26分	実例を基にした3話のドラマ（第1話：妻が要介護状態になっても「介護サービスを受け入れない」で、自らだけで対処しようとする夫の事例、第2話：介護を必要とする親への対処方法が間違っており、それが「虐待」となっていた「自覚のない」家族の事例、第3話：親の「要介護状態を受け入れられず」、人目に晒されないように柱に縛りつけてしまった家族の事例）から、介護の問題点や虐待防止の対応方法をわかりやすく紹介しています。	2008	字幕入り
B-3	老いを生きる 今日も何処かで高齢者のサインが！	35分	超高齢社会の時代。作品では、認知症の問題と家族から受ける虐待を取りあげ、誰もが通らなければならない老いの問題を自分のこととして捉え、高齢者に対するやさしさや思いやりの心を態度や行動にどう表していくかについて考える内容となっています。	2010	字幕有り
B-4	ここから歩き始める 認知症を共に生きる	34分	日本における平均寿命の大幅な伸びや、少子化などを背景として、社会の高齢化が急速に進んでいる。それに伴い、認知症高齢者も大きな社会問題になっている。高齢者を家族や地域でどのように支えていくか、また、高齢者自身の意欲や能力をどのように生かしていくかを考えることは、これからの私たちの大きな課題である。この作品は、「認知症を共に生きる」をテーマに、高齢者問題を人の幸せと尊厳を守るという人権の視点から捉える。認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる介護をめぐる葛藤ときずなの紡ぎなおしを描くことで、高齢者が人間として誇りを持って生きていく上で大切なことについて、家族や地域の視点を通して考える。	2015	副音声、字幕有り
B-5	認知症と向き合う	30分	認知症によく見られる症状、認知症の人の思いと家族の気持ちの変化、症状の理解、介護者の交流の大切さなどを描いたドラマ教材です。認知症の人もその周辺の人、よりよく生きていけるように。認知症の人の視点に立って認知症への理解を深めることを目的に制作された作品です。	2016	

障がい者の人権問題

番号	題名	収録時間	内容	制作年	備考
C-1	桃色のクレヨン (アニメ)	28分	「桃色のクレヨン」は、知的障がいのある、いとこととのふれあいを通じて「かけがえのない命」や「思いやりの心」など大切なことに気付いていく主人公の姿をテーマにしており、子どもと大人が一緒に見て楽しめ、少しほろっときて、それでいて心が温まる作品です。たぶん、あなたにも大切なことをいっぱい気付かせてくれるはずです。	2004	字幕入り
C-2	障害のある人とのふれあいと人権 今まで声をかけられなかったあなたへ	23分	「本当のバリアフリーは、心のバリアフリーからはじまる」をテーマに、街で困っている障がい者を見かけたときに、どのようにして関わり、サポートすればよいかを、障がい者自身の言葉で伝えた作品です。障がい者自身からのメッセージ、『今日からちょっと勇気を出して、声をかけてください』が込められています。	2008	字幕入り
C-3	モップと帚 大阪発の障がい者雇用	30分	働きたいと願う人がいます。それを叶えてあげたいと願う人たちがいます。障がい者の雇用の場は広がりつつあります。しかし、まだ働きたいのに働けない障がい者は数多く存在しています。知的障がい者の就労支援という人と人との真剣に向き合う現場が1年半の取材によって描かれています。「人と人とのつながりのなかにぬくもりがあり、人と人とのつながりの中でこそ成長がある・・・」、社会の中で働くことの意味を今一度問いかけるドキュメンタリー作品です。	2011	字幕有り
C-4	秋桜の咲く日	34分	この映画は、「目に見えにくい違い」の一つとして発達障害を取り上げています。発達障害のある人の生きづらさや痛みを真摯に伝えるとともに、「違い」が生み出すプラスのエネルギーを美しく群青するコスモスの花々と重ね、「ともに生きることの喜び」を伝えている作品です。	2014	副音声、字幕入り

障がい者の人権問題

番号	題名	収録時間	内容	制作年	備考
C-5	聲の形	30分	「あの時、アイツの声が聞こえていれば・・・」将也のクラスに転校してきた硝子(しょうこ)は聴覚障がい者だが、筆談ノートで積極的に皆に語りかける。当初は好意的に受け入れていた将也やクラスメイトたちだったが、硝子が原因で授業が止まったり、筆談ノートの煩わしさに徐々にストレスを感じていく・・・。道徳の授業の教科化に伴い、いかにして子どもたちを「心の豊かな人間」に育てるか様々な議論がなされています。原作の「聲の形(こえのかたち)」(講談社)は、現代の子どものリアルな表情を描きつつ、「いじめ」や「障がい者との共生」などの難しいテーマを読者が自然に考えることのできる優れた物語です。本作は原作の物語を基本に、教材としてのテーマを付加したドラマ形式の学習教材です。「いじめ」や「障がい」に対する意識と知識を高め、学校や家庭内で話し合うきっかけとしてお役立てください。	2015	
C-6	風の匂い	34分	障害のある人を含むすべての人々にとって住みよい平等な社会づくりを進めていくためには、国や地方公共団体が障害のある人に対する各種施策を実施していくだけでなく、社会すべての人々が障害のある人について十分に理解し、必要かつ合理的な配慮をしていくことが求められています。しかし、障害のある人に対する理解や配慮は十分とは言えず。その結果として障害のある人の自立と社会参加が阻まれて、共生社会は十分に実現されているとは言えない事例も見受けられる。	2016	副音声、字幕有り
C-7	障害のある人と人権 誰もが住みよい社会をつくるために	33分	障害のある人もない人も誰もが住みよい社会をつくるためにはどうしたらよいのでしょうか？このDVDでは、障害のある人が直面する人権問題や心のバリアフリーの実現に向けた取組などを紹介し、「障害のある人と人権」について考えていきます。	2018	副音声、字幕有り

同和問題

番号	題名	収録時間	内容	制作年	備考
D-1	ダリットに学ぶ 部落の心 坂東希インド編	36分	国際NGO・反差別国際運動（IMADR）で働く坂東希。6度目のインド訪問はふるさと和歌山からのスタディツアーをリードします。カースト制度による差別が、今も根深く残る南インドの農村部。日本のかつての被差別部落との類似性に、参加者たちも、連帯への思いを強くしていきます。国や民族を超え、つながることで互いがエンパワーメントされていく…。カースト制度下「不可触民」とされたダリットの人々との交流を通して、自らの解放運動の意味を思考する希の今を描きます。	2008	
D-2	部落の心を伝えたいシリーズ 人権感覚を磨きませんか	30分	沖縄出身の父と部落出身の母から徳島県で生まれ育ち、地域の学習会の指導員をしている大灣さんが子どもたちと関わるなかでいじめ等の差別の芽がどのようにして生まれるのかを鋭く指導し、問題解決に踏み込んでいく姿やイラストや心理テストをつかったユーモラスな講演会を行っている姿を描いた作品です。また、結婚差別の実態や支えあう仲間作りの大切さを訴えています。	2010	字幕有り
D-3	同級生	30分	30年前、部落差別が原因で物別れになってしまった二人の父親が、子どもたちや家族同士のふれあいの中で再び部落差別と向き合いながら友情を取り戻していく姿を描いています。作品を通して、自分自身の心を見つめることの大切さ、人として生きるうえで親が子供に伝えなければならないことは何か等、今一度、家庭における教育の大切さを考える内容となっています。	2010	字幕有り
D-4	部落の心を伝えたいシリーズ 無知を許さず 連続大量差別はがき事件	30分	連続大量差別はがき事件の被害者が、二度と同じ事件が起きない事を願い、地獄の苦しみを味わった経験から掴んだ真実を語ります。講演の中では、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題は「無知」に起因することを具体的に解説し、差別解消のための方法を説いています。	2012	字幕有り
D-5	部落の心を伝えたいシリーズ 結婚差別400事例	28分	結婚差別の相談に奔走する中でつかんだ人間の真実。それは応援する人が、必ず現れること。そして、人は変わること。中・高等学校等での講演風景は、具体的な事例をもとにわかりやすく話をしている姿を捉えています。	2013	字幕有り
D-6	あなたに伝えたいこと	36分	この作品のテーマは「インターネット時代における同和問題」です。主人公は、ごく普通の若い女性で、結婚話を中心に恋人や友人、家族などのかかわりを通して、ネット上の情報だけではなく、実際に人とふれあう中でお互いを正しく知り合うことが、同和問題やすべての差別をなくしていくために重要であることを、明るい希望とともに伝える作品です。	2014	副音声、 字幕有り

職場・企業における人権

番号	題名	収録時間	内容	制作年	備考
E-1	見てわかる 改正均等法のセクハラ 対策 気づこう！職場のセク シャル・ハラスメント	20分	均等法が改正になり、職場のセクハラ対策は男性へのセクハラも含まれることになった。また、派遣社員に対するセクハラは派遣先も責任を問われるようになった。誰もが被害者にも加害者にもなり得る中で、どのような言動がなぜセクハラになるのかを、原因のタイプ別に解説していく。	2007	
E-2	人権のヒント 職場編 気づきのためのエピソード集	22分	ドラマでごく普通の会社員の日常を描きながら、日頃は気づかない「人権のヒント」を探り、職場のなかで私たちが考えるべき人権課題を提起しています。「男女の役割」「セクハラ」「パワハラ」「障がい者」「出自と差別」などについて、気づき、考える内容となっています。職場編となっていますが、職場以外の身近な人権にも、気づき、考える機会を与える内容となっています。	2010	字幕有り
E-3	職場の日常から考える パワーハラスメント	28分	ある会社で起こる様々な出来事を一本のドラマで描き、多様化する「職場のパワーハラスメント」の問題に切り込んだ作品です。本ドラマでは、暴力や暴言といった従来型のパワハラは取り上げていません。むしろパワハラなのかそうでないのか、線引きが難しい事例を中心に描いています。より働きやすい職場をつくるために、働く人がそれぞれの立場から、「職場のパワーハラスメント」をなくすためにどのようにすればいいのか、学んでいただける内容です。	2012	解説書 有り
E-4	セクハラ・パワハラ処 方箋 最新4プログラム	22分	年々深刻化するセクシャルハラスメント・パワーハラスメント問題。より分かりやすく学ぶための学習教材への要望が絶えない。そこで、近年、最も注目を集める桑野里美さんに注目。時代と並走する桑野スペシャル・セミナーの今を追ひ、全面協力の下、やがて共感の輪を拡げていく。	2015	字幕有り
E-5	企業と人権 職場からつくる人権尊 重社会	40分	近年、長時間労働による過労死、セクハラやパワハラなどのハラスメント、さらにはLGBT、障害のある人、外国人等に対する差別や偏見に関わる問題などが社会の注目を集めています。こうした「人権問題」への対応は、時として企業の価値に大きく関わります。そのため、人権尊重の考え方を積極的に企業方針に取り入れ、職場内で人権に関する研修を行う企業も増えてきています。このDVDは、企業向けに実施する研修会等で活用しやすいように、ドラマや取材、解説も交えて構成しています。	2017	副音声、 字幕有り

平和

番号	題名	収録時間	内容	制作年	備考
F-1	一つの花 (アニメ)	23分	昭和19年(1944年)の夏、日本は太平洋戦争の真っただ中、戦況は悪くなるばかり、食べ物も不足していました。まだ2歳にならないゆみ子のお父さんは、体が弱いので兵隊にも行けず、工場で働いています。幼いゆみ子が覚えた最初の言葉は「ひとつだけ、ちょうだい」ーいつもおなかをすかして「もっと、もっと」とねだるゆみ子に「じゃあね、一つだけ」と分けてくれるお母さんの言葉でした。	ー	
F-2	消えさらぬ傷あと 火の海・大阪 (アニメ)	20分	大阪大空襲の中で逃げまどう人々、そして多くの尊い命が奪われた。その中で幸子も焼夷弾の破片によって右腕を切り裂かれ、幸子の妹・朋子もまた、焼夷弾の破片をうけて父の背中で亡くなった。戦争の恐ろしさを、戦争体験者の声と実話を基に描いています。	ー	
F-3	さとうきび畑 (アニメ)	11分	心にざわわ・・・、聴こえますか。今、改めて、平和への祈りを・・・忘れないでください。多くの人々の祈りを平和への実りにするために。。歌い継がれてきた「さとうきび畑」。森山良子さんの歌をバックに、反戦・平和への願いをアニメーションで描いています。	ー	
F-4	ヒロシマの記憶 幻の原爆フィルムで歩く広島	35分	1945年、ヒロシマの廃墟。その映像は日本人カメラマンの手で後世に伝えられました。原爆調査の一環として行われた日本映画社の撮影は、原爆投下の2か月後のことです。ハイビジョン映像としてよみがえった原爆映像に、現在の映像とインタビューを交え、立体的に広島の記憶をたどります。これから広島を歩く人のためのガイドとなるDVDです。	2004	
F-5	夏服の少女たち ヒロシマ・昭和20年 8月6日 (アニメ)	34分	学徒動員で建物の取り壊し作業にあたっていた少女たちの頭上で原爆が炸裂した終戦直前の広島。物資が極端に乏しい中で、旧広島県立第一高等女学校の生徒たちは、母親のお古をほどいて夏服を縫う。しかし、心待ちにしていた夏服に袖を通した喜びもつかの間、8月6日を迎える。戦争の暗い影に怯えながらも明るく生きた少女たちの日々をアニメーションで、ボロボロに焼けた夏服を形見として守り続ける遺族の深い悲しみをドキュメンタリーで描く。	2005	

番号	題名	収録時間	内容	制作年	備考
F-6	長崎の記憶 幻の原爆フィルムで歩く長崎	37分	長崎に原爆が投下されて2か月。焦土の風景と苦しむ被爆者は日本人の手によって撮影されました。当時、日本映画社スタッフが撮影したフィルムには、治療を受ける人々や医師と看護師、焼き尽くされた建物、ガレキに埋まる町の様子が映しだされています。現存する未編集フィルムはハイビジョン処理され、これまでより詳細な状況が確認できるようになりました。この作品は、被爆者の証言を交えながら、当時を振り返ります。	2008	
F-7	いわたくんちのおばあちゃん ぼく、戦争せんけえね (アニメ)	20分	原爆で家族5人を失った「いわたくんちのおばあちゃん」が家族写真に込める思いを題材にした絵本が原作です。家族と写真を撮りたがらないという友人の祖母の話聞いた小学生の主人公が平和への思いを抱いていく作品です。	2009	字幕有り
F-8	トビウオのぼうやは びょうきです (アニメ)	19分	1954年3月1日ビキニ島で一体何が起こったのでしょうか？ビキニ島でアメリカが水爆実験し、この爆発で人間が病気になったり死んでしまった、被害にあったのは、人間だけではなく、たくさんのお魚たちも同じように病気になって寝たきりになったり死んでしまいました。そして、いつも元気で明るいトビウオのぼうやも病気になり寝たきりになってしまいました。もうお父さんやお母さんと一緒に、空を飛ぶことができないのでしょうか。一体なでこんな事になってしまったのでしょうか。	2011	
F-9	ちいちゃんのかげおくり (アニメ)	17分	「かげおくり」という遊びをちいちゃんに教えてくれたお父さんも出征して行ってしまいました。夏の夜の空襲でちいちゃんは家族とはぐれて、一人ぼっちになってしまいました。家族との楽しい思い出を考えながら、やがて死んでいくちいちゃん。彼女の姿を通して、戦争のもたらす悲惨さを訴えます。	2011	
F-10	ながさきの子うま (アニメ)	27分	日本がまだ戦争していた昭和20年の夏、広島に原子爆弾が落とされ、たくさんの人々が亡くなった3日後の8月9日長崎。再び原子爆弾が人間の頭上に落とされました。犠牲になったのは人間ばかりではなく、長崎に住んでいた、たくさんのお動物たちもまた犠牲になりました。その中にはお母さん馬と幼い馬もいました。この作品は、長崎のかわいい子馬を主人公に、他の動物たちのユニークなキャラクターも加わり、やさしく平和と生命の尊さを伝えつつ、長崎を最後の被爆地に“の誓いと願いを込めて、幼い子どもだけでなく大人たちにも送る作品です。	2011	

平和

番号	題名	収録時間	内容	制作年	備考
F-11	おかあちゃんごめんね (アニメ)	26分	昭和20年7月10日は、大阪・堺市民にとって二度と忘れることのできない日となりました。戦争中の日本は、この年アメリカ軍の空襲によって、何百万人もの人たちが日本中で、殺され傷つき焼け出されました。堺市ではこの日、2,830人もの人たちがころされ、傷つきました。私たちは、この悲しい過去を忘れてはいけません。このお話は当時6才だった浜野絹子さんの体験を基に、平和人形アニメーションにしたものです。	2011	
F-12	マララ 教育を求めて闘う少女	30分	マララ・ユスフザイは、パキスタン出身の女性フェミニスト・人権運動家で、17歳でノーベル平和賞を受賞しました。彼女は、危険な目に遭いながらも、なぜ世界に訴え続けるのでしょうか？教育を受ける権利とは？マララ自らの言葉で語るインタビューや今までの活動の映像から、彼女の信念と素顔を探ります。そして教育を受ける価値について、改めて考えます。	2013	字幕有り
F-13	Paper Cranes Story ケンタとマイコ (アニメ)	27分	毎年8月の広島、長崎の原爆記念日に世界中から何十万という数の千羽鶴が平和祈念館に送られてきます。千羽鶴は平和の象徴として、世界に誇れる素晴らしい日本発の文化です。希望や平和への願いを込めて一羽一羽丁寧に折られていきます。この物語は、現在社会の背景にある現実のエピソードを舞台に、『折り紙の使命』を背負い、目的地に向かう健太と舞子のドラマをクロスさせながら進行します。	2013	

人権全般

番号	題名	収録時間	内容	制作年	備考
G-1	どんぐり森へ (アニメ)	15分	このアニメでは、虫をいじめていたわんぱく少年が、どんぐり森で体験する不思議な出来事を通して、どんな生き物にもいのちがあり、それは、たった一つしかなく、失うと2度とは戻ってこない大切なものであることを学んでいく姿を描いています。	—	
G-2	こぎつねのおくりもの (アニメ)	30分	夢から生まれたおばあさんと3匹の子ぎつねの温かいほのぼのとした楽しい童話の世界へ！お地蔵さんに化けたら「おだんご」がもらえることを覚えた3匹の子ぎつねが、お供えしてくれるおばあさんの大切な写真を破ってしまう。人間と子ぎつねの温かい触れ合いを描いた、悪人のいない明るく楽しい感動のアニメーション。	—	
G-3	よっちゃんの不思議なクレヨン (アニメ)	22分	やさしいよっちゃんと森の動物たちとの温かい生命の物語！不思議なクレヨンがいろいろな心を教えてくれます。①やさしい心②みんなの為に奉仕する心③ごめんねという反省の心④自分だけの間違った欲張りな心⑤ありがとうという感謝の心	—	
G-4	えっ！ これも人権？	30分	この作品は日常生活のふとした出来事などを例にあげ、「なるほど これも人権問題なんだ」とその大切さに気づく4コマ・マンガと実写でわかりやすく構成されています。「人権」＝「〇〇」。あなたなら人権という言葉はどう置き換えますか。誰にとっても大切な人権、それは「愛」でもあり、「やさしさ」でもあります。そう考えると、「人権」は決して難しいものではありません。	2000	字幕入り
G-5	プレゼント 私は、「いじめている」なんて気持ちはなかった。ああいう風になるまでは… ～いじめ問題～ (アニメ)	15分	小学4年生の綾香は、同級生の美由紀の誕生日に手作りの写真立てをプレゼントする。それは、美由紀のことを思って作ったプレゼントであったが、美由紀の気に入るものではなかった。腹をたてた美由紀は、それから綾香にいじわるを始める・・・	2003	字幕入り
G-6	ありったけの勇気 ～いじめ問題～	27分	運動の苦手な美紀にドッジボールで負けたことから、千恵子のいじめが始まる。美紀をかばっていじめに一人で立ち向かう真由美。親友の直子は一歩踏み出す勇気が出なかったが、先生や両親のアドバイスを受け、少しずつ元氣と勇気を取り戻していく。友だちとの関わりや相手の気持ちを考えることの大切さ、いじめをなくすためにお互いに認め合い、本音で話せる関係づくりなど、いじめに立ち向かう勇気の大切さを伝える作品。	2007	字幕入り

人権全般

番号	題名	収録時間	内容	制作年	備考
G-7	未来世紀ニシナリ	68分	釜ヶ崎、あいりん地区、ドヤ街、部落、在日、・・・・・・かつて負のイメージで語られることの多かった西成。今、この大阪ディープサウスで「すべて」をつなぐ新しい町づくりの取り組みが進んでいる。「すべて」の意味は二つ。〈すべての人々〉=（古くからの住民も、日雇い労働者も、ニューカマーもホームレスも、障害者も、独居老人も、すべての人々を地域社会の構成員として包み込み支え合う）と〈生活のすべて〉=（住居、仕事、健康、介護、環境・・・・）。	2006	
G-8	見上げた青い空 ～いじめ問題～	34分	いやがらせメール、プロフ（プロフィール）、掲示板。匿名性が高いネット時代の“いじめ”はウィルスのように次々と感染していき、陰湿な仕打ちもまるでゲーム感覚です。そして、誰が次のターゲットになるか分からない恐怖心から、クラス全員がいじめの側に加わろうとする一方、ターゲットにされた子どもは24時間いじめにさらされてしまう残酷さもネット時代の“いじめ”の特徴です・・・・	2007	副音声、字幕入り
G-9	おくりびと	131分	人は誰でもいつか、おくりびと、おくられびと。納棺師の物語―すべての人に普遍的なテーマを通して、夫婦の愛、わが子への無償の愛、父や母、家族への想い、友情や仕事への矜持など、さまざまな愛を届けてくれる作品です。	2008	字幕有り
G-10	桂福団治 心の手話落語 大阪冬物語 ～しじみ売り～	25分	病気の母親と姉を助けるためにしじみ売りをしている少年。この少年に心を打たれた親方は・・・・小さな少年から商いの基本と心得を学ぶ感動のお話。場所は大阪・船場。十日戎でにぎわう町は雪がちらつく。年のころなら、12、3歳ぐらいの男の子が天秤棒をかついで蜆（しじみ）を売っている・・・・	2010	
G-11	クリームパン 「いのちと人権」 つながるいのちを感じて	36分	派遣切りにあって失業中で、アパートでひとり暮らしをし、自暴自棄な生活を送っていた主人公が、知り合ったパン屋の店主とともに虐待されていた隣家の児童を救い出す・・・・。ドラマを通して、児童虐待という問題、課題を考えるだけでなく、人と人が出会い、ふれあい、人によって生かされ、つながっていく「いのち」を考える作品となっています。	2010	解説書、副音声、字幕有り
G-12	ほんとの空 「意識と人権」 あなたの思いをわたしのものに	36分	子どもや高齢者、外国人、部落差別を巡る人権課題や偏見を、どこにでもありそうな身近な出来事を通じて考えることができるドラマ仕立ての作品です。また、新たな課題となっている「福島差別」についても主人公の子どもの観点から見つめなおす内容となっています。	2012	解説書、副音声、字幕有り

人権全般

番号	題名	収録時間	内容	制作年	備考
G-13	ヒーロー 「無縁社会と家族」	34分	主人公は、働き盛りのサラリーマン。地域社会と縁を持たずに過ごしてきましたが、あるきっかけで地域と関わるようになり、近所の高齢者や家族と出会います。傍観者ではなく、主体的に行動することで、新たな地域のつながりを結んでいく主人公の様子を描いています。	2013	副音声、字幕有り
G-14	家庭の中の人権 生まれ来る子へ	25分	祖父母と孫夫婦の会話を通して、身の回りにある人権問題をクローズアップしています。家庭の中で、人権の尊さについて語り合い、伝えていくことは、すべての「いのち」を大切にすることでもあります。気づくこと、行動することの大切さを描いています。	2013	解説書有り
G-15	光射す空へ (アニメ)	46分	同和対策審議会答申が出されて50年。同和地区の生活環境は大きく改善されました。しかし、地区の出身者や住民に対する差別は、形を変えて根強く残っています。また、性同一性障害や性的指向における少数派の人々、若年性認知症と診断された人々に対する誤解や偏見もあります。この映画では、大学生たちの悩みと学びを通して、「正しい認識と理解」「多様性の受容と尊重」の大切さを描いています。	2016	副音声、字幕有り
G-16	わたしたちが伝えたい、大切なこと (アニメ)	31分	このDVDは、「全国中学生人権作文コンテスト」入賞作品に基づいて制作され、中学生である主人公が、自らの経験を通して差別される側の心の痛みを知り、父の言葉を思い起こして差別に立ち向かう勇気を得る経緯を描いたアニメーションとなっています。本作品を通して「人権ってなんだろう」と、自分自身の問題として考えてもらうことを目的に制作された作品です。	2017	副音声、字幕有り
G-17	君が、いるから	33分	子どもや若者は、社会の希望であり、未来をつくる存在です。しかし、現実を顧みると、子どもや若者が被害者や加害者になる悲痛な事件が後を絶ちません。今この時も虐待やいじめなどにより人権を侵害され苦しんでいる子どもや若者が「すぐ隣り」にいることに、私たちは気づかなければなりません。この作品は、母親からの心理的虐待に悩む若者「奏」が主人公です。生き方を制限され、自分が愛されていると感じることができず自己肯定感の低い彼女も、コンビニエンスストアを舞台とした「ほんの小さな冒険」をきっかけに少しずつ変わっていきます。彼女は、そこで出会う人々との触れ合いを通して新たな価値観に気づいていきます。ともに心を通わせ、信頼することの先に「希望」と「幸せ」があることを奏の成長を通して描きます。	2018	副音声、字幕有り

さまざまな人権課題

番号	題名	収録時間	内容	制作年	備考
H-1	虐待防止シリーズ 幼児・児童虐待 見えない虐待をしない ために	25分	実例を基にした3つのドラマ（事例1:エゴの押し付け、事例2:発育への不安と孤立、事例3:過干渉としつけへの思い込み）をもとに、幼児・児童虐待の問題点と虐待を防ぐ対応法を分かりやすく紹介しています。	2008	字幕入り
H-2	拉致 許されざる行為	21分	北朝鮮による日本人拉致の悲劇（政府拉致問題対策本部制作）	2008	
H-3	拉致問題啓発 めぐみ（アニメ）	25分	北朝鮮による日本人拉致の悲劇（政府拉致問題対策本部制作）	2008	
H-4	自分らしい明日のために 早見優が案内する成年 後見制度	30分	「成年後見制度」について、この制度を支えていただくために、早見優さんがナビゲーターとなり、2つの事例から作成したドラマをもとに、わかりやすく解説しています。	2009	副音声、 字幕有り
H-5	ドキュメンタリー映画 虎八眠ラズ 在日朝鮮人ハンセン病 回復者 金泰九	30分	在日外国人、ハンセン病という二重のマイノリティである主人公の当事者が様々な差別、偏見を受けながら、困難な状況を乗り越え、ポジティブに生きている姿が描かれたドキュメンタリー作品。主人公が波乱万丈な人生で掴んだ信条、「『正しく知り行動する』そして『人権を全てに優先して考える』」が印象的で、様々な人権課題、偏見や差別を考える機会にもなる内容です。	2011	字幕有り
H-6	ハンセン病問題 過去からの証言、 未来への提言	56分	この教材は、ハンセン病問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等の人権教育・啓発に携わる職員等が身に付けておくべきハンセン病問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめています。また、広く一般市民を対象とした啓発現場においても使用できる有効なツールとなる映像も併せて制作し、次世代へ伝承しようとするものです。	2015	副音声、 字幕有り

さまざまな人権課題

番号	題名	収録時間	内容	制作年	備考
H-7	あなたがあなたらしく生きるために 性的マイノリティと人権	30分	性・セクシュアリティはとても多様です。しかし、それをしっかり理解している人はごくわずかでしょう。そのため、性的マイノリティの多くが、生きづらさを感じています。誰もがありのままに受け入れられ自分らしく生きたいと望んでいます。そんな社会を実現させるためには、まず相手を正しく理解し、偏見や差別をなくす必要があります。この教材は、性的マイノリティについて人権の視点で理解を深めるのがねらいです。性的マイノリティの入門編としてご活用ください。	2015	副音声、字幕有り
H-8	外国人と人権 違いを認め、共に生きる	33分	外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切にする人権尊重の社会をつくりあげるために何ができるかを考えるものです。外国人に対する偏見や差別を無くし、皆が住みよい社会を築くために私たちにどのようなことが問われているのかを学びます。	2016	副音声、字幕有り
H-9	インターネット と人権 加害者にも被害者にも ならないために	30分	インターネットは、私たちの生活を豊かにするとともに欠かすことのできないものになっています。しかし一方で、ネット上の人権やプライバシーの侵害につながる行為は後を絶たず、近年特にネットいじめや子どもたちをターゲットとした犯罪が大きな社会問題となっている。本DVDは、主に中学生や保護者、教職員を対象に、利用する上での危険性や、安全な利用方法をまとめています。	2016	副音声、字幕有り
H-10	誰もがその人らしく LGBT	20分	この作品は、主人公の周りにいたけれども見えなかったLGBT（性的少数者）の人たちが見えてくるストーリーです。LGBTの人たちに対する社会の偏見はまだ強く、存在していてもなかなか見えないのが現状で、偏見や差別に苦しんでいます。LGBTの問題は、他人事ではなく、タイトルにあるように、誰もが自分らしく生きることを考えていくうえで、LGBTの人を別のカテゴリーの人と見ずに、自分とも続く性のグラデーションのなかで、たまたまその位置にいる人々というふうに客観視できれば、誰もが生きやすい社会をつくる一歩になるのではないのでしょうか。	2017	

さまざまな人権課題

番号	題名	収録時間	内容	制作年	備考
H-11	サラーマット あなたの言葉で	36分	訪日外国人の増加や、改正出入国管理法の施行など、外国の人々と接する機会が増え、職場や地域で共に生きる時代になっています。一方で、文化、言語、習慣などの「違い」や偏見から、外国人が増えることに抵抗を感じている人も少なくありません。また、スマートフォンの急速な普及によって、SNS内でのいじめなどが深刻化し、社会問題になっています。一人ひとりがSNSを利用する際のマナーや配慮について考えていく必要があります。この作品の主人公・珠美は、新しく職場に来たフィリピン人のミランダに対し、様々な「違い」を「壁」と捉え、面倒な存在だと感じてしまいます。しかし、自分とは異なる文化や考え方を持つミランダとの対立や交流を通して、珠美は新たな視点に気づかされ、「違い」は様々な問題解決の糸口になることも学んでいきます。珠美とミランダの姿を通して外国人は「受け入れてあげる存在」でも「労働力」でもなく、助け合うことができる対等な仲間であること、そして、SNSを傷つけるための道具としてではなく、人の心と心をつないでいくために利用する様子を描きます。「違い」は壁ではなく、自分自身を成長させ、地域を豊かにする源です。異なる文化の人たちを共に未来をつくる新しい存在として尊重し、互いに高め合っていく。多文化共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマです。	2019	